

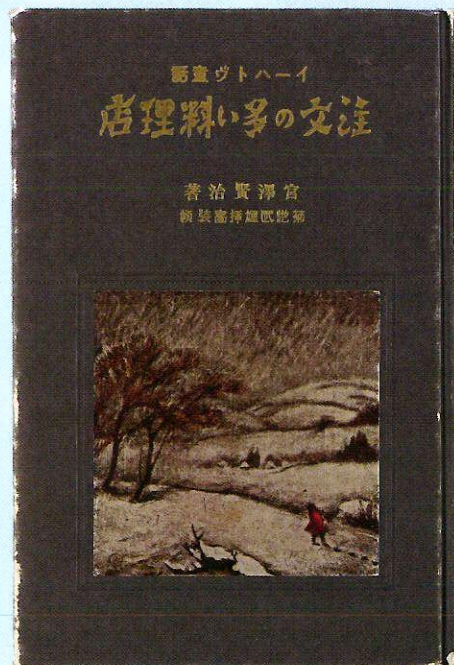
第5回 宮沢賢治国際研究大会

The Fifth International Congress of Miyazawa Kenji,
Celebrating the 130th Anniversary of his Birth

「すきとおったほんとうのたべもの」
True transparent food

賢治が世界から受け取り、「ことば」にして、
そこからみんなが得てきたもの。
今、あらためて問いなおす。

宮沢賢治は、童話集『注文の多い料理店』序文の中で、「ことば」にすること、
「ことば」を受け取ること、生きることとの関係について語っています。
「わたしたちは、氷砂糖をほしくらいもたないでも、きれいにすきとおった風をたべ、
桃いろのうつくしい朝の日光をのむことができます。」
そのように受け取ったものを、賢治は「ことば」にし続けました。そして、「おしまい」、
それがあなたの「すきとおったほんとうのたべもの」になることを、賢治は願ったのです。
そこにあるのは、「からだ」を起点として「ところ」をとらえる生き方であり、その「生き方」
を示すのが賢治の「ことば」です。



いのちの糧をさがして、イーハトーブへ

■期日 2026年11月1日(日)～11月3日(火) ■会場 岩手県花巻市 なはんプラザ **入場無料**

11月1日 開会行事

- ◆児童生徒による
『注文の多い料理店』序等朗読
- ◆記念講演
ロジャー・バルバース氏
(作家・翻訳家・劇作家等)
竹内 薫氏(サイエンスライター・作家)
- ◆賢治さん購入の楽器による
ミニコンサート
演奏：ラトゥールカルテット
- ◆懇親会
※別途お申込みと参加費が必要です

11月2日 研究大会

- ◆分科会 宮沢賢治文学を多角的に語る
- ◆動物表現における可能性と問題
コーディネーター：牧千夏
パネリスト：Kaori Nagai、村上克尚、石井要
- ◆宗教の多面性
コーディネーター：大塚常樹
パネリスト：P. A. George、深田愛乃、君野隆久
- ◆想像力の多面性
コーディネーター：鈴木健司
パネリスト：浜垣誠司、沈終淑、
Asieh Saber Moghaddam
- ◆「心象スケッチ」の理論的背景と推敲
コーディネーター：秋枝美保
パネリスト：杉浦静、Brian Fox、
Kristina Ivanova、馮思途
- ◆自由研究発表

11月3日

シンポジウムとエキスカーション

- ◆シンポジウム
「宮沢賢治作品の
アニメーション化をめぐる」
コーディネーター：岡村民夫
パネリスト：構大樹、Oriane Sidre、
鋤柄真希子
- ◆エキスカーション(花巻市内)
※別途お申込みと参加費が必要です

主催 宮沢賢治生誕130年記念第5回国際研究大会実行委員会／一般財団法人 自治総合センター

後援 岩手県、岩手県教育委員会、岩手日報社、朝日新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日日新聞社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、花巻ケーブルテレビ、えふえむ花巻

問合せ 実行委員会事務局(宮沢賢治イーハトーブ館内 宮沢賢治学会イーハトーブセンター事務局)

〒025-0014 岩手県花巻市高松1-1-1 TEL 0198-31-2116 FAX 0198-31-2132 MAIL kenji.info@kenji.gr.jp

詳細はこちらを
ご覧ください▶



<https://www.kenji.gr.jp/>

